

Birth Racing Project

鈴鹿サーキット



SomeRights

A2 TECHNICA



AOBA Driving School

verve. Planning Consulting Engineering.

StarFive Motor Racing Store



R'S DESIGN MOTORSPORTS



MSLASH

M's Auto Mobile Service



IRVINE CO. LTD



OFFICE SUPPORT

アーバースホール



RACING GEAR PRINT SERVICE

PLAT2

PROTEX

2019 SuperTaikyu Rd5 サーキット：鈴鹿サーキット

総エントリー台数：53台
クラス：ST-TCR 参加台数：8台
チーム名：Birth Racing Project
ドライバー：Aドライバー・HIROBON
Bドライバー・松本 武士
Cドライバー・篠原 拓朗

3月21日
練習走行 午後 45分×2本
3月22日
練習走行 午前：1時間39分
午後：2時間
3月23日 午前：1時間
午後：予選 AB (15分間)
C (20分間)
3月24日 第1戦決勝 5時間 (120Laps)

予選結果：Aドライバー・2.12.874 (クラス1位)
Bドライバー・2.12.167 (クラス2位) AB合算：クラス1位
Cドライバー・2.12.784 (クラス1位)

決勝結果：2位

～木曜日～ ドライ

45分×2

2本共セッション前半は松本さんがセッティングの確認を行い、僕がロングランをするという流れでした。ロングランの段階から去年の自分の予選タイムよりも速く、好感触でした。Super耐久・TCRクラスではロングドライブをした際に、フロントタイヤを持たせる事を考えます。そのあめ、今まで以上にしっかりと荷重をかける乗り方をエンジニアさんからアドバイスして頂き、その走り方の練習も出来ました。

～金曜日～ ドライ

午前中の走行は、予選タイムが順位に反映されるABドライバーさんのセッティングを煮詰める時間となったため、僕は走行しませんでした。

午後からはしっかりとそのセットを確認させて頂き、Newタイヤではありませんが予選シミュレーションを行いました。前日よりフィーリングも良く、予選が楽しみな仕上がりでした。

土曜日 予選ドライ

決勝で使うブレーキパッドの焼き入れから始めていきました。
2周かけて焼き入れを行い、その次からアタック。という流れです。
鈴鹿サーキットは一周の距離が長く、タイヤの消耗も激しいので計測自体は2周で考えて臨みました。
Cドライバー予選はエントリーしている全クラスのCドライバーが走るので、非常にクリアラップが取れにくいですが、その中でもクラス違いの車を抜きながらベストタイムを出せたので良かったです。満足できるタイムではありませんでしたが、鈴鹿でのツーリングカーレースにおいて初めて手応えを感じる事が出来ました。ここから先更に精度・技術を磨いて進化していきます。



日曜日

決勝 ドライ

改めて、耐久レースの難しさを感じたレースでした。

大きなミスもなく進めたレースでしたが、FCY（フルコースイエロー）やSC（セーフティーカー）のタイミングに翻弄されてしまいました。

5時間レースは主に4スティントで走り切ります。僕は2スティント目を走行しました。90分走行する予定で走り出しましたが、自分のスティントの際にFCY2回・SC1回が出てしまい戦略を変え約60分の走行となりました。タイムが同じ様な他クラスとのバトルでは各車両の得意不得意な部分が大きく違い、非常に勉強になりました。

今回の自分の反省点は、90分タイヤを持たせる事を考え過ぎてしまい、攻める部分が足りなくなってしまった事だと思います。タイヤを持たせながらも攻め切るレースをもっと精度を上げて出来るようになります。

FCY：（フルコースイエロー）コース上、脇に車両が止まっているなど、危険が存在していてもセーフティーカーを導入するまでには満たない場合にFCYが出ます。コース全域で速度50 km制限となり、コース上での追い越し不可となる。ピットイン・アウトは可能でピット作業をする際のタイミングも非常に大事になります。但し、ペナルティの消化は出来ません。

まとめ

今回のレースは非常に悔しい思いをしました。Super耐久は年間6レースあります。その為開幕戦2位というのは決して悪いスタートではありませんでしたが、予選も1位でマシン・ドライバー共に良い仕上がりだったために、より悔しさを感じます。レースウィークでも自分のドライビングについて発見出来た部分が多くありました。そのポイントを次戦に活かしていきます。

今回のテスト→予選→決勝の流れの中で手応えを非常に感じております。次戦が非常に楽しみです。

応援・サポートして下さいありがとうございました。

